

下野三楽園
「養育三つの柱」
慈悲 思やる心
智慧 正しい心
勇猛 強い心

さんらくえん通信

発行責任者：鈴木常元 編集責任者：高久 哲 第14号
編集：下野三楽園編集委員会

日光山輪王寺節分会



二月二十四日、日光山輪王寺において、節分会行事の「縁喜がらまき」に参加しました。お菓子や福豆などを袋いっぱいに入れて、得意満々の表情の子どもたちの姿がありました。
(西宮)

僕はみんなよりもいっぱいお菓子を取れたので楽しかったです。また行きたいです。(小2年 S・Aくん)

もうこりた 忘己利他

わたくし りんのうじ ぼう まいあきこんぎょう ほんどう さんぶつどう
私たちが輪王寺のお坊さんは、毎朝勤行のため本堂である三仏堂に
さんしゅう いっしょ きょう よ なか
参集し、一緒にお経を読みます。その中に『金光明経捨身品』という一章
があります。

しゃかさま ぜんせい おうじさま はなし う とら おやこ かわいそう おも
お釈迦様の前世であった王子様のお話で、飢えた虎の親子を可哀想に思い、
なんと「自身の体を食べさせてあげるといふ内容のお話です。かなり過激で
きゆうきよく はなし
究極のお話ではありませんね。

てんだいしゅう もうこりた おし じぶん わす たひと
天台宗には『忘己利他』なる教えがあります。「自分のことは忘れて他の人の
ためになることを行いなさい」といふ伝教大師の教えです。つまり、『金光明
でんきようだいし わか と う とら
経捨身品』を伝教大師は分りやすく、このように説いているのです。飢えた虎に
みさだ きも たにん たす
身を差し出すぐらいの気持ちで他人を助けなさいということなのです。

みな いっさくねん ひがしにほんだいしんさい う ひさいしや ぼきん おこな
皆さんが一昨年の東日本大震災を受け、被災者のために募金を行った
こうい じつ もうこりた じっせん
行為も、実は『忘己利他』の実践であり、ひいては『金光明経捨身品』の教えに
のっと すば こうごう
則った、とても素晴らしい行動であったということが出来ます。

日光山輪王寺 菅原 道信

3月9日、24年度卒園する4名を祝う「卒園生を送る会」が行われました。それぞれの新しい生活へ向け、全児童・全職員でお祝いしました。卒園生の一人一人の成長した姿がとても立派でこれからの新生活が順調に進むよう応援していきたいです。(石川忠)

輪王寺人見先生から

記念品の贈呈



3月、4名の子どもたちが高校を卒業し、園を出てそれぞれの道に巣立っていきました。彼ら、彼女たちの将来に幸多きことを願ってやみません。(西宮)



卒園生K君 赴任日の光景

2月10日、県内の児童福祉施設の子どもたちが年1回集結し、各施設で演目を披露するイベントが行われました。本園の演目はダンスと太鼓演奏でした。一般客の来場もあり、大勢の観客の前で緊張しながらも、子どもたちはそれぞれに楽しむ事ができた様子でした。(石川直)

児童文化祭



僕は選抜メンバーの4人で太鼓の演奏をしました。「男体おろし」という演目で初めての曲でした。本番は大変緊張しましたが、終わってから達成感を感じる事ができて気持ちよかったです。良い経験になりました。

(高1年T. N君)



心理より

心理療法の一つに箱庭療法があります。木枠の箱に、砂が敷き詰められ、その砂をかき分けると、水色の底面がでてきます。そこを舞台に物語が始まります。子どもは棚に並べられている様々なフィギュアを思い思いに置き、風景をつくりあげていきます。一つの限られた空間ですが、言葉より豊かに語られることが多くあります。一見穏やかな情景ながら、見ていると苦しくなるようなこともあります。それは、子ども自身も意識はしていないけれども、やりきれなさを抱えている心的世界の現れです。見守るのが精いっぱいときもありますが、どんな想いも大事にしていきたいと思い、作る姿をみています。(相澤)



ご支援のお願い

本園では子どもたちの学習指導、交流、環境美化等さまざまなボランティアの御協力を求めています。皆様のご協力やお知り合いの方々のご紹介等いただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。

園長 高久 哲

発行元：社会福祉法人 下野三楽園

〒321-2105

宇都宮市下小池町 194

TEL：028-669-2131

FAX：028-669-2241

E-mail

shimotsuke-sanrakuen@nifty.co